

エンジニアリングシンポジウム 2020

完了報告

一般財団法人エンジニアリング協会

新型コロナウイルスの感染拡大の中で、数百人の方をお招きするエンジニアリングシンポジウムを開くべきか否かは、かなり難しい判断でした。

エンジニアリングシンポジウム実行委員会の中で、慎重に審議した結果、「このイベントは、30年以上続いた行事であり、『新日常』の中でも、是非開催すべきである」という意見が多数を占め、10月16日（金）に、2019年のノーベル化学賞受賞者の吉野彰様など、著名な講師を招いた「エンジニアリングシンポジウム2020」を実施しました。

開催に当たっては、感染防止に最大限の努力を払い、その結果、シンポジウム全体の評価として、「非常に良かった」が全体の約2/3を占め、「良かった」との評価を合わせれば、97%の方から肯定的な評価を頂くことができました。

また、今回のシンポジウムは、参加者数を大幅に絞ったことから、当日参加できなかった方のために、賛助会員企業関係者限定で、後日、YouTubeによる動画配信を行ったところ、約500名の方にご視聴をいただきました。

以下に2020年のエンジニアリングシンポジウムの概要を報告します。



旭化成、吉野彰様による特別講演



前統合幕僚長、河野様による第1講演



アサヒビール、松山様による第2講演



JDLA、松尾様による第3講演



会場からの質問(特別講演)





永松理事長挨拶



司会の前野専務理事

会場全景（一ツ橋ホール）





会場の日本教育会館外観

開催当日の日本教育会館入り口



日本教育会館1階に
設置した受付（左、下）



入場証と感染対策チェックリスト (右)

会場内では「密にならない様に」
「会話は控えめに」等を
プラカードで呼掛けた (下)



3列2

感染症対策チェックリスト

シンポジウム開催当日必ずご持参いただき、受付にご提出ください。

以下の内容をご確認のうえ
左の口にチェックいただき、名刺を貼付ください。

開催日前2週間から当日において、以下の項目に該当しないことを確認しました。

- ・37.5℃以上の発熱、または平熱比1℃超過
- ・咳やのどの痛みなど風邪の症状
- ・嗅覚、味覚の異状
- ・だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)を感じる
- ・体が重く感じる、疲れやすいなどの症状
- ・感染が疑われる身近な知人や家族、または感染症陽性者との濃厚接触
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航、または当該在住者との濃厚接触

感染者が発生した場合等、連絡先を公的機関へ情報提供する可能性があることについて、

ENNA 一般財団法人エンジニアリング協会

エンジニアリングシンポジウム 2020

開催日: 10/16(金)
会 場: 日本教育会館 一ツ橋ホール

こちらにお名刺を貼付いただくか、必要事項をご記入のうえ、受付の際にご提示ください。

会社名 _____

TEL _____

所属・役職 _____

お名前 _____

3列2

ENAA一般財団法人エンジニアリング協会

エンジニアリングシンポジウム

ひと・夢・地球

～持続可能な未来社会を拓くエンジニアリング～

2020

2020年10月16日(金) 会場 日本教育会館 一ツ橋ホール
※ 昨年までと会場が異なります。

講演プログラム

第1講演 9:30～10:45
今後の我が国の安全保障の課題
河野 克俊 川崎重工業株式会社 顧問 総合事業部長

第2講演 11:00～12:15
お客さまの心を動かす
イノベーションとマーケティング
松山 一雄 アパヒューム株式会社 専務取締役 専務執行役員 マーケティング本部長 東京2020オリンピック・パラリンピック本部長

協会挨拶 13:30 永松 治夫 一般財団法人エンジニアリング協会 理事長

第3講演 13:40～15:10
A1社会実装
～大企業×テックベンチャーの共創による日本のビジネス未来～
松尾 豊 一般財団法人日本ディープラーニング協会 (DLA) 理事長 東京大学大学院工学系研究科 人工知能工学研究センター 技術経営戦略学 教授

特別講演 15:30～17:00
リチウムイオン電池が拓く未来社会
吉野 彰 旭化成株式会社 名誉フェロー 国立研究開発法人産業技術総合研究所 フェロー 東京エナジー 総務部長 セロエミッション 国際共同研究センター長 (2019年ノーベル化学賞 受賞)

※新型コロナウイルス感染症対策を実施いたします。詳細は別紙をご参照ください。

主催 一般財団法人エンジニアリング協会
後援 経済産業省

本イベントは
会員限定

学生限定25名
無料ご招待

お申込について

新型コロナウイルス感染症対策として、本年度の開催は座席数を定員の半数以下とし、「全席座席指定制」とさせていただきます。
各社の連絡担当者に申込シートをお送りしますので社内で取りまとめ後、E-mail でシンポジウム事務局 (sympo-admin@enaa.or.jp) までお申込みください。

参加費 9,900円(税込) 申込締切 2020年10月2日(金)

※ 座席数に限りがございますので、申込締切後、人数調整をさせていただきます場合がございます。
※ 人数調整後、連絡担当者様宛に人数分の参加証と請求書をご送付いたします。
※ お申込みいただいた参加費は、開催が中止となる場合を除きご返金できませんので、予めご了承ください。
※ 講演者のご事情等により講演者や内容が変更になる場合がございます。

大学生・大学院生の皆さまは
Webサイト内「学生キャリア支援」からお申込みください。
https://www.enaa.or.jp/seminar_etc/43754

申込み先着順で限定25名様を無料でご招待いたします。



会場のご案内

日本教育会館 一ツ橋ホール ※ 昨年までと会場が異なります。

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2
TEL 03-3230-2833 (遠案内専用電話)

電車最寄駅

地下鉄都営新三田線 東京メトロ半蔵門線	神保町駅 (A1出口・徒歩3分)
地下鉄都営三田線	神保町駅 (A6出口・徒歩5分)
東京メトロ東西線	竹橋駅 (1b出口・徒歩5分) 九段下駅 (5番出口・徒歩7分)
JR総武線	水邊橋駅 (西口出口・徒歩15分)

お車

首都高速道路、代官町・北の丸インターチェンジ
(駐車場はございません。)



お問い合わせ先

一般財団法人エンジニアリング協会
エンジニアリングシンポジウム事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 (UD神谷町ビル10階)
TEL: 03-5405-7201 (代表) FAX: 03-5405-8201
E-mail: sympo-admin@enaa.or.jp

PRパンフレットに1ページ追加し、
感染症対策の周知と来場者自身の
発熱チェックを徹底していただく
事などにつき万全を期した

新型コロナウイルス感染症対策と ご参加の皆様へのごお願い

1. 東京都を含む 緊急事態宣言もしくは同種の強力な自粛要請が10月9日時点において発令中、もしくは9日以降に発令または発令が予告された場合には開催を中止し、その旨を当協会のWebサイトに掲載いたします。
2. 開催日前2週間から当日において下記の【セルフチェック項目】に該当する場合はご来場なさらないようお願い致します。
ご来場された場合には大変恐縮ながら入場をお断りさせていただきます。
【セルフチェック項目】
○ 37.5℃以上の発熱、または平熱比1℃超過
○ 咳やのどの痛みなど風邪の症状
○ 嗅覚、味覚の異常
○ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)を感じる
○ 体が重く感じる、震れやすいなどの症状
○ 感染が疑われる身近な知人や家族、または感染症陽性者との濃厚接触
○ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航ならびに当該在住者と濃厚接触
3. ご来場時には、事前にお送りする「感染症対策チェックリスト」を予めご記入いただき、受付に提出願います。その際、あわせて参加証をご提示ください。なお、感染者が確認された場合は、感染者の人權および個人情報保護に配慮しつつ公衆衛生上の要請を踏まえた対応を行います。
4. 当日はマスクの着用をお願いいたします。また、会場入口での検温、手指の消毒、咳エチケット、三密の回避にご協力ください。
座席は「指定席制」とし、席間隔を空けてお掛けいただけます。
会場内での会話・飲食はお控えください。
館内の換気は法令等に基づいた必要換気量を十分に満たしております。

1. 事業内容

(1) 概要

名 称 : エンジニアリングシンポジウム2020
統一テーマ : ひと・夢・地球
 ~持続可能な未来を拓くエンジニアリング~
会 期 : 2020年10月16日(金)
会 場 : (一財)日本教育会館、一ツ橋ホール
主 催 : 一般財団法人 エンジニアリング協会
後 援 : 経済産業省

(2) 経緯と概要

エンジニアリングシンポジウムは、多業種に亘るエンジニアリング関係者が、年に一度一堂に会して交流する大イベントであり、この機会にエンジニアリング業界を取り巻くさまざまな課題とその対応についての「会員相互間の情報共有の場」として情報交換するとともに、業界外に向けてエンジニアリング業界の存在意義等について「情報発信する場」としても活用するものです。

本シンポジウムの意義と継続の是非につき、昨年1年間余りに互り有志企業8社から成る「シンポジウムのあり方改革ワーキンググループ」にて議論を尽くし、その開催意義と開催方式につき意見書を取りまとめました。つまり2020年度以降も本シンポジウムを継続して開催することとし、但し経費節減のために会場をそれまでのホテルから一般財団法人内の一ツ橋ホールに変更し、従来午前中3会場にて合計6本の講演を同時開催してきた形式を1会場にて午前午後各2本、計4講演とする事となりました。

本年はコロナウィルス感染拡大によって一時開催そのものが危ぶまれました。開催するとしても会場に多くの人を集めるのではなく、ウェビナーでの開催とすべきではないかとの議論を交わしましたが、講師の皆様から実開催が望ましいとのご意見をいただき、また実会場でのセミナーと違い録音や録画がはるかに容易に行えるウェビナーへの懸念等を踏まえ、感染症対策に万全を期して実開催で2020年度のシンポジウムを開催することとしました。なお対象者は原則会員に限定し、実開催の可否につき会期の直前まで鋭意情報収集に努めました。

コロナの影響で会場キャパシティが802席から378席へと半減し、感染予防と万一感染者が出た場合に濃厚接触者を特定できるようにするため全席指定席としました。講演の様態をビデオに撮影し、講師の確認・編集作業を経た上で後日会員企業がWeb上で視聴いただける様にしました。

(3) プログラム

午前の部	一ツ橋ホール (3F)
9:30 (75分) 10:45	【第1講演】 今後の我が国の安全保障の課題 河野 克俊 川崎重工業株式会社 顧問 前 統合幕僚長
(15分)	休憩
11:00 (75分) 12:15	【第2講演】 お客さまの心を動かす イノベーションとマーケティング 松山 一雄 アサヒビール株式会社 専務取締役 兼 専務執行役員 マーケティング本部長 東京 2020 オリンピック・パラリンピック本部長
(75分)	昼休み
午後の部	一ツ橋ホール (3F)
13:30	【協会挨拶】 永松 治夫 一般財団法人エンジニアリング協会 理事長
13:40 (90分) 15:10	【第3講演】 AI 社会実装 ～大企業×テックベンチャーの共創による日本のビジネス未来～ 松尾 豊 一般社団法人日本ディープリンング協会 (JDLA) 理事長 東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 技術経営戦略学 教授 [パネルディスカッション] <モデレーター> 川上 登福 (株式会社経営共創基盤 共同経営者マネージングディレクター) <パネリスト> 山崎 文敬 (株式会社イクシス 代表取締役) 島本 佳紀 (AnyTech 株式会社 取締役)、 浦本 直彦 (株式会社三菱ケミカルホールディングス執行役員 CDO)
(20分)	休憩
15:30 (90分) 17:00	【特別講演】 リチウムイオン電池が拓く未来社会 吉野 彰 (2019年ノーベル化学賞 受賞) 旭化成株式会社 名誉フェロー 国立研究開発法人産業技術総合研究所 フェロー 兼 エネルギー・環境領域 ゼロエミッション国際共同研究センター センター長

(4) コロナ対策

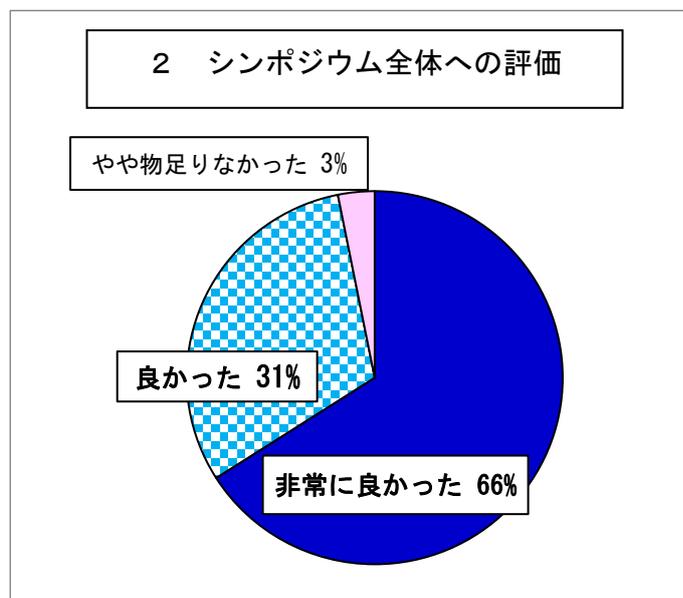
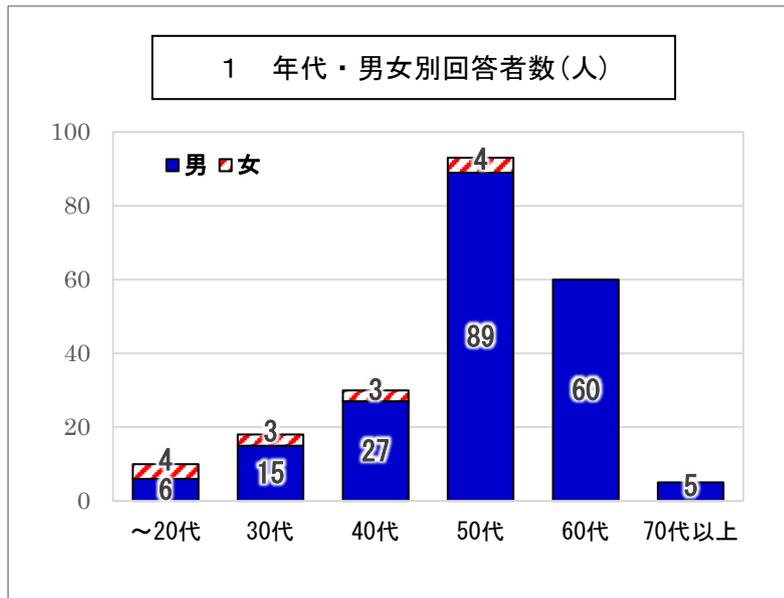
コロナウィルス感染予防対策のために以下の対策を取りました。

- ① 平常時は 802 席のツ橋ホールを半数以下となる 378 席に制限した他、万一感染者が出た場合に濃厚接触者を特定できる様、全席指定席制とした。
- ② PRパンフレットに 1 ページ追加し、感染症対策の周知と来場者自身の発熱チェックを徹底していただく事などにつき万全を期した。(P. 5 参照)
- ③ 来場者には事前に指定席番号を明記した入場証と感染対策チェックリストを送付して来場者に自信の健康状態を確認した上で来場いただくこととし、更に受付にてチェックリストを回収して健康状態に懸念のない方のみに入場いただく事を徹底した。
- ④ 受付にて健康状態チェックを受けた来場者と、そうではない来場者を一目で見分けられる様にするため、チェック済みの来場者の入場証には直径 15mm の鮮やかなグリーンステッカーを添付した。
- ⑤ 入り口には来場者をカメラで捉えて発熱者を特定するサーモグラフィーを設置し、短時間に集中しがちな来場者をスムーズにチェックすることができた。
- ⑥ 各講演前の休憩時間に、司会から新型コロナウイルス感染防止のためのお願いとして、会場内でのマスク着用や、休憩時間においても不要な会話をお控えいただきたい事、会場内での飲食は禁止、ホール内には飲み物などを持ち込まない事、感染防止のために指定された座席から移動しない事などを繰り返しアナウンスした。
- ⑦ 講師控え室での接茶はペットボトルと紙コップとした。
- ⑧ 講演終了毎に講師演台、PC と同アクセサリー、スクリーンの消毒等を徹底した。
- ⑨ 質疑応答時のマイクにつき、質問者が変わるたびにマイクを都度消毒した。
- ⑩ 講師と関係者との昼食会を開催しない事とした。
- ⑪ 午後の特別講演前の休憩時間に例年実施していたコーヒーサービスを行わない事とした。
- ⑫ 講演会後の懇親会につき、本年度は開催しない事とした。
- ⑬ 参加できなかった方々ために全ての講演をビデオ撮影し、事後に会員企業限定で 11 月 11 日から同月末まで視聴できるようにした。

※ シンポジウム終了後、参加者がコロナウィルスに感染した連絡や報告はありません。

2. 開催結果； 来場者アンケート集計

217名の皆様からご回答いただきました。主要な項目を以下にグラフ表示します。



以上